

施策体系ごとの目標達成状況及びその取り組み

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

	大項目	中項目	小項目		2005年度	2006年度
1 食料等の生産活動及び森林等の多面的機能についての県民の理解と活動の促進	(1)情報の交流	農林水産情報の交流促進	小中学校等における森林環境学習の受講者	目標	年500人	年500人
				実績	年620人	年850人
			★ 三河材の利用促進の普及啓発	目標	100日/年	100日/年
				実績	80日/年	96日/年
			★ しんせつネットへのアクセス件数	目標	-	-
				実績	-	-
		食生活に関する知識の普及啓発	目標	1,600件	1,900件	
			実績	1,547件	1,663件	
		ふれあいの場情報の提供	目標	-	1ルート	
			実績	-	1ルート	
	目標		-	46件		
	(2)ふれあいの場づくり	花と緑のある暮らしづくりの推進	花壇コンクールの参加小中学校	目標	年12校	年12校
				実績	年12校	年13校
			学校関係緑化コンクールの参加小中高等学校	目標	毎回1校	毎回1校
				実績	2校	2校
★ 産地直売所を核とした交流の促進		交流モデル(累計)	目標	-	-	
			実績	-	-	
★ 交通条件の変化に合わせた直売施設の整備		直売施設の整備	目標	-	-	
			実績	-	-	
(3)県民活動の促進	消費者、生産者等の協働活動の推進	いいともあいちネットワークの拡大(累計)	目標	31会員	32会員	
			実績	32会員	42会員	
	地域の森づくりの推進	「愛知万博」を記念した森づくりなどの活動支援(累計)	目標	1グループ	2グループ	
			実績	2グループ	2グループ	

達成状況： 100%以上 100%未満～80%以上 80%未満

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	達成状況	2008年度の取り組みの概要	担当課
年500人	年500人	年500人	年500人		したら森祭りなどの各種イベント、農楽の先生及び学校での間伐体験授業等を実施した。	林業振興課 新城林務課
年614人	年539人					
100日/年	100日/年	100日/年	100日/年		東三河流域森林・林業活性化センターが実施する住宅展示会への協力、関係先への訪問普及啓発活動を実施した。	林業振興課 新城林務課
96日/年	93日/年					
800件/年	1,600件/年	2,400件/年	2,400件/年		各項目について、常に新しい情報を提供できるよう月1回をめぐりに更新した。	農政課
13,423件/年	12,813件/年					
2,200件	2,400件	2,700件	3,000件		今年度から「食育推進協力店登録事業」と事業名が変更したため既指定施設へ事業内容の説明並びに登録申請依頼を実施した。（栄養成分表示店は、平成20年度から食育推進協力店に拡充された。）	保健所
1,778件	1,364件					
2ルート	3ルート	4ルート	5ルート		11月に2ルート「茶臼山高原を楽しむルート」「北設楽の温泉を楽しむルート」を設定した。	農政課
2ルート	4ルート					
46件	46件	46件	46件		「天狗なす」「芝桜（茶臼山）」を追加した。	農政課
65件	67件					
年12校	年12校	年12校	年12校		新城市立開成小学校、船着小学校、設楽町立設楽中学校、田口小学校、津具小学校、名倉小学校、田峯小学校、東栄町立東栄中学校、東栄小学校、東部小学校、豊根村立豊根小学校が参加した。	農政課
年12校	年11校					
毎回1校	毎回1校	毎回1校	毎回1校		新城市立菅守小学校が学校関係緑化コンクールに参加し、特選となった。	林業振興課 新城林務課
1校	1校					
1力所	2力所	3力所	4力所		第二東名の建設に合わせて、設置を検討した。	農政課
-	0力所					
-	1力所	1力所	1力所		第二東名の建設に合わせて、設置を検討した。	農政課
-	0力所					
34会員	36会員	36会員	36会員		未加入者に働きかけたものの、新規加入には至らなかった。	農政課
48会員	48会員					
3グループ	4グループ	5グループ	6グループ		新たに塩瀬先森隊が取り組む地域の森づくりに協力した。	林業振興課 新城林務課
3グループ	4グループ					

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

	大項目	中項目	小項目	2005年度	2006年度	
1 食料等の生産活動及び森林等の多面的機能についての県民の理解と活動の促進	(3)県民活動の促進	地域の森づくりの推進 ★	林業経営講習会の受講者	目標	60人以上/年	60人以上/年
				実績	62人/年	80人/年
		★	定年退職者森林づくり(累計)	目標	-	1カ所
				実績	-	5カ所
		地域住民一体による食と緑を活用した地域づくりの推進	モデル的な地域づくりの取り組み	目標	1地区	1地区
				実績	1地区	1地区
		食育指導者等の育成	「豊かな食と農の伝道者」の育成	目標	21人	21人
				実績	21人	21人
		流域森林・林業活性化センターへの支援	森林整備や三河材利用促進のための研修会開催の支援	目標	年1回	年1回
				実績	年1回	年4回
		海、川等の清掃活動の支援	漁業者と県民による海や川のクリーンアップ活動の支援	目標	年3か所	年3か所
				実績	年3か所	年3か所
	河川や水路の清掃、除草活動への参加者(目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	7.7万人	7.7万人		
		実績	8.3万人	7.5万人		
2 安全で良質な食料等の持続的な生産と供給の確保	(1)食品の安全管理の推進	栽培・飼養管理の適正化	家畜疾病の監視検査の実施(目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	2,280頭羽	2,220頭羽
				実績	5,052頭羽	4,634頭羽
			農薬使用者を対象とした講習会受講者	目標	年1,700人	年1,700人
				実績	年2,018人	年1,742人
		農産物環境安全推進マニュアルの策定	農産物環境安全推進マニュアルの導入(累計)	目標	-	-
				実績	-	-
		生産情報の提供	トレーサビリティシステムの導入(目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	2品目	3品目
				実績	2品目	2品目
				目標	80%	84%
			農業協同組合生産部会員の生産履歴情報のデータベース化	実績	98%	72%

達成状況： 100%以上 100%未満～80%以上 80%未満

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	達成状況	2008年度の取り組みの概要	担当課
60人以上/年	60人以上/年	60人以上/年	60人以上/年		東三河流域森林・林業活性化センターと連携し、「1日林業入門塾」や「林業経営講習会」を実施開催した。	林業振興課 新城林務課
45人/年	56人/年					
2カ所	2カ所	2カ所	2カ所		定年退職者等が森林づくりの技術を習得出来る場として、新たに新城市富岡地内始め4カ所実施した。	林業振興課 新城林務課
10カ所	14カ所					
1地区	1地区	1地区	1地区		地域づくりの活動を支援した。	農政課
1地区	1地区					
21人	21人	21人	21人		伝道者による小学生を対象にした郷土食や地元農産物を使った料理指導、正月の習わしなどを指導する食と農の理解研修会の開催を支援した。また、一般市民を対象にしたクッキング教室の講師としての活躍を支援した。	農業改良普及課
21人	21人					
年1回	年1回	年1回	年1回		低コスト木材生産システムの普及のため設定した団地で実施した。	林業振興課 新城林務課
年7回	年4回					
年3カ所	年3カ所	年3カ所	年3カ所		大入川漁協の活動を支援した。	農政課
年3カ所	年1カ所					
7.8万人	7.8万人	7.9万人	8.0万人		管内河川の清掃、除草活動を支援した。	建設事務所
7.7万人	7.6万人					
2,160頭羽	2,100頭羽	2,040頭羽	2,000頭羽		BSE検査は100%実施した(1,420頭)。事故率の低減、廃牛出荷の円滑化により死亡牛が減少した。 HPAI監視検査は採卵鶏農場全戸の清浄性を確認した(2,810羽)。廃業農家の増加により、検査羽数がやや減少した。なお、上記の他、県内でのHPAI発生に伴い、2,500羽を追加検査した。	家畜保健衛生所
-	4,360頭羽	4,180頭羽	4,180頭羽			
4,574頭羽	4,230頭羽					
年1,700人	年1,700人	年1,700人	年1,700人		新城市928人(39回)、北設楽郡874人(75回)を対象に水稻、野菜、果樹等の栽培講習会を実施した。	農業改良普及課
年2,024人	年1,802人					
-	2産地	4産地	5産地		愛知東やまびこミニトマト生産部が農産物環境安全推進マニュアルの取り組みを開始した。愛知東トマト部会3支部が農産物環境安全推進マニュアルを導入した。	農業改良普及課
1産地	4産地					
3品目	3品目	3品目	3品目		県内では牛肉、豚肉及び鶏卵のトレーサビリティシステムが導入されている。	農政課
3品目	3品目					
88%	92%	96%	100%		愛知東農協が主体となって、管内のデータベース化を推進した。	農政課
93%	99%					

達成状況： 100%以上 100%未満～80%以上 80%未満

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	達成状況	2008年度の取り組みの概要	担当課
年44店舗	年44店舗	年44店舗	年44店舗		年間44店舗を目標として、計画的に実施した。	農政課
44店舗	44店舗					
年4名	年4名	年4名	年4名		年度当初に4名（公募2名、市町村推薦2名）を配置した。	農政課
4名	4名					
25%	25%	40%	40%		大規模飼養農家4戸、うち2戸で2007年度までに導入済みである。	農政課
50%	50%					
3品目	3品目	3品目	3品目		県内では牛肉、豚肉及び鶏卵のトレーサビリティシステムが導入されている。	農政課
3品目	3品目					
88%	92%	96%	100%		愛知東農協が主体となって、管内のデータベース化を推進した。	農政課
93%	99%					
13ha	15ha	17ha	19ha		省力化と生産コスト低減、作業分散を目的として、展示ほの設置、現地研究会等を開催した。	農政課
13.1ha	12.1ha					
60%	60%	70%	70%		管内は、自家消費米農家が多いため、更新率は58%にとどまった。	農政課
55%	58%					
100%	100%	100%	100%		麦の種子更新を支援した。種子更新率は100%であった。	農政課
100%	100%					
20%	25%	25%	30%		大豆種子の更新を支援した。自家消費が大半のため、更新率は10%にとどまった。	農政課
15%	10%					
11ha	12ha	13ha	15ha		八名丸さといも部会を中心に栽培を推進するとともに、系統選抜したメリクロン苗の育成を図った。しかし、組合員の高齢化等により、栽培面積は7.0haにとどまった。翌年度の組織による栽培面積拡大のため、種芋の栽培が行われた。	農政課
6.3ha	7.0ha					
8,600kg/頭	8,700kg/頭	8,800kg/頭	8,900kg/頭		2007年度からの生乳生産調整による減産の影響と2007年度以降の飼料価格の高騰に伴う低品質の飼料へのシフトにより、平均乳量が目標を下回った。	農政課
8,311kg/頭	8,452kg/頭					
71%	71%	75%	75%		養豚繁殖農家4戸、すべての農家で系統豚利用している。	農政課
100%	100%					
45万件	47.5万件	50万件	52.5万件		県全体で、117万件の情報提供を行った。	農業改良普及課
141万件	117万件					

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

	大項目	中項目	小項目		2005年度	2006年度	
2 安全で良質な食料等の持続的な生産と供給の確保	(2)品質や生産性を高める技術の開発・普及とIT化の推進	農林水産業の技術的支援	技術等の普及推進 (農業：重点普及課題)	目標	年63	年50	
				実績	年64	年75	
			技術等の普及推進 (林務：重点普及課題)	目標	年15	年15	
				実績	年15	年18	
	(3)食料等の生産基盤の整備	農業の生産基盤の整備	基幹農道の整備 (新規累計)	目標	2.5km	5km	
				実績	0.6km	2.8km	
			農業の生産基盤の整備 (30a区画以上の水田整備)	目標	-	-	
				実績	-	-	
			林業・木材産業の基盤整備	高性能林業機械の導入 (累計)	目標	-	2台
					実績	-	0台
		林道の整備 (累計)		目標	681km	700km	
				実績	672km	688km	
		★ 低コスト木材生産システム モデル団地の設定		目標	5団地/年	5団地/年	
				実績	6団地/年	8団地/年	
		★ 高性能林業機械作業班の育成 (累計)	目標	2班	3班		
			実績	3班	4班		
	★ 木材生産性の向上	目標	5m ³ /人・日	5m ³ /人・日			
		実績	5.5m ³ /人・日	4.9m ³ /人・日			
	★ 不在村森林所有者への施業 集団化の促進	目標	60人/年	60人/年			
		実績	62人/年	80人/年			
(4)県内産食料等の消費と利用の促進	消費者等のニーズの把握	いいともあいちネットワークの拡大 (再掲)	目標	31会員	32会員		
			実績	32会員	42会員		
	★ 地産地消運動の推進	いいともあいち協調月間の設定	目標	-	4回/年		
			実績	-	4回/年		
	ブランド化の推進	あいちの伝統野菜の産地化	目標	1品種	1品種		
			実績	1品種	2品種		

達成状況： 100%以上 100%未満～80%以上 80%未満

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	達成状況	2008年度の取り組みの概要	担当課
年50	年50	年50	年50		農業改良推進会議で関係機関・団体からの希望を聞き取り、農業振興に係る課題に取り組んだ。	農業改良普及課
年75	年58					
年15	年15	年15	年15		低コスト木材生産システムの普及、新規事業体の確保・育成、森林施業の団地化・集約化、三河材の利用促進などの目標を掲げ実施した。	林業振興課 新城林務課
年15	年15					
7.5km	10km	12.3km	12.3km		奥三河2期地区（稲武～名倉間）0.6kmを整備した。	建設課
12.5km	13.1km					
-	2.9ha	2.9ha	2.9ha		農地環境整備事業作手黒瀬地区の基盤整備を実施した。	建設課
-	2.1ha					
4台	5台	7台	9台		新城森林組合、三河トラック(有)及び豊根村森林組合が購入した。 新城森林組合、設楽町森林組合の購入計画を指導した。	林業振興課 新城林務課
1台	5台					
721km	741km	762km	783km		県営、補助営の林道事業等により計画的に実施した。	林業振興課 新城林務課
706km	722km					
5団地/年	5団地/年	5団地/年	5団地/年		新城市、東栄町、豊根村の各市町村で設定した。	林業振興課 新城林務課
8団地/年	8団地/年					
3班	4班	5班	6班		豊根村森林組合で1班を育成した。編成された作業班に対し、生産性の向上を主体に指導した。	林業振興課 新城林務課
4班	5班					
6 ^m /人・日	6 ^m /人・日	7 ^m /人・日	8 ^m /人・日		現場条件に合わせた作業の効率化、作業道の作設手順を指導した。	林業振興課 新城林務課
4.9 ^m /人・日	5.0 ^m /人・日					
60人/年	60人/年	60人/年	60人/年		東三河流域森林・林業活性化センターと連携し、「1日林業入門塾」や「林業経営講習会」を実施した。	林業振興課 新城林務課
172人/年	56人/年					
34会員	36会員	36会員	36会員		未加入者に働きかけたものの、新規加入には至らなかった。	農政課
48会員	48会員					
4回/年	4回/年	4回/年	4回/年		奥三河“満菜”料理コンクール、親子料理教室などを開催し、いいともあいち運動を展開した。	農政課
4回/年	4回/年					
1品種	1品種	1品種	1品種		「八名丸さといも」、「天狗なす」のブランド化を推進した。	農政課
2品種	2品種					

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

	大項目	中項目	小項目	2005年度	2006年度		
2 安全で良質な食料等の持続的な生産と供給の確保	(4)県内産食料等の消費と利用の促進	産地直売の促進	主な産地直売施設の利用者	目標	年36万人	年36万人	
				実績	31万人	34万人	
			★	梅の加工品目(累計)	目標	2品目	3品目
					実績	3品目	3品目
			★	梅の加工品目(累計)	目標	9品目	9品目
					実績	10品目	11品目
		地域食材の利用促進	いいともあいち推進店の拡大(累計)	目標	9店	12店	
				実績	14店	17店	
		花のイベントの開催	花のイベントの参加者(目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	36万人	21万人	
				実績	31万人	21万人	
		三河材の認証制度の整備	三河材の認証制度の整備(目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	-	-	
				実績	-	-	
		三河材の利用促進	三河材の利用量(累計)	目標	40千 ³ m	42千 ³ m	
				実績	49.1千 ³ m	48.9千 ³ m	
			★	三河材流通加工センターへの出荷量	目標	35千 ³ m/年	35千 ³ m/年
					実績	29.7千 ³ m/年	31.7千 ³ m/年
			★	サテライト市場設置(累計)	目標	-	1カ所
					実績	1カ所	2カ所
			★	治山・林道事業等での三河材利用量	目標	1,000 ³ m/年	1,000 ³ m/年
					実績	988 ³ m/年	1,013 ³ m/年
★	あいくる材の利用		目標	650 ³ m/年	650 ³ m/年		
			実績	937 ³ m/年	596 ³ m/年		
業務用需要への販路拡大	加工用野菜契約取引産地の拡大	目標	-	-			
		実績	-	-			
海外輸出の推進	輸出品目(目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	-	-			
		実績	1品目	2品目			

達成状況： 100%以上 100%未満～80%以上 80%未満

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	達成状況	2008年度の取り組みの概要	担当課
年36万人	年36万人	年36万人	年36万人		直売所は47万人、施設内食堂等は13万人、その他体験施設等は8万人が利用した。	農政課
62万人	68万人					
3品目	5品目	5品目	6品目		加工品として、米粉、エゴマを使った菓子を開発した。米、エゴマ、コゴミ、梅、ジネンジョ、八名丸里芋の6品目の特産品の栽培推進と加工品の開発ができた。	農業改良普及課
5品目	6品目					
9品目	9品目	10品目	11品目		開発は目標を達成しているため、農協の加工品販路拡大を支援した。	農業改良普及課
11品目	11品目					
14店	15店	15店	15店		拡大に向けて働きかけをしたが、増加には至らなかった。	農政課
26店	26店					
21万人	21万人	21万人	21万人		第41回愛知県山村花き品評会が豊田市で開催された。また、市町村及び農協等に対し、フラワードームを始めとする花のイベントを紹介し、参加を呼びかけた。	農政課
19万人	20万人					
-	整備	整備	整備		東三河流域森林・林業活性化センターの東三河環境認証分科会を支援した。	林業振興課 新城林務課
-	整備					
44千m ³	46千m ³	49千m ³	51千m ³		森林組合指導を通して安定供給を図った。	林業振興課 新城林務課
53.3千m ³	54千m ³					
35千m ³ /年	35千m ³ /年	35千m ³ /年	35千m ³ /年		森林組合振興対策会議等を開催し、協議の場を設け出荷を促進した。	林業振興課 新城林務課
30.5千m ³ /年	33.4千m ³ /年					
1カ所	2カ所	2カ所	2カ所		低コスト輸送システムの普及のため、サテライト市場を新城市、東栄町及び豊根村に設置した。	林業振興課 新城林務課
2カ所	5カ所					
1,000m ³ /年	1,000m ³ /年	1,000m ³ /年	1,000m ³ /年		当事務所で実施する公共土木事業等において積極的に利用促進を図った。	建設課 林業振興課 森林整備課 新城林務課
1,064m ³ /年	1,732m ³ /年					
650m ³ /年	650m ³ /年	650m ³ /年	650m ³ /年		当事務所発注の各種公共土木事業で利用を促進した。	建設課 林業振興課 森林整備課 新城林務課
539m ³ /年	217m ³ /年					
-	1産地	1産地	1産地		八名丸さといもの栽培がまとまった面積に拡大した後、業務用需要への販路拡大を検討する。	農政課
-	0産地					
2品目	3品目	4品目	5品目		野菜、果樹等の輸出の可能性について検討した。県では、洋ラン、大葉、柿、メロンの品目の輸出を推進した。	農政課
3品目	4品目					

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

	大項目	中項目	小項目		2005年度	2006年度	
2 安全で良質な食料等の持続的な生産と供給の確保	(5)担い手の育成等の推進	新規就業者の確保・育成	新規農業就業者の確保	目標	年5人	年5人	
				実績	年3人	年4人	
			新規林業就業者の確保 (目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	30人	30人	
				実績	31人	26人	
			経営体の育成	認定農業者 (累計)	目標	79人	89人
					実績	89人	115人
		女性や高齢者の能力発揮	家族経営協定の締結 (累計)	目標	26件	29件	
				実績	37件	47件	
			農村女性による起業数 (累計)	目標	21件	24件	
				実績	21件	24件	
		価格安定制度等への加入促進	価格安定制度加入率 (野菜)	目標	80%	80%	
				実績	72%	71%	
	(6)支援組織の育成強化	地域の特徴を生かした支援組織の育成	地域営農組織活動の支援	目標	1地区	1地区	
				実績	1地区	1地区	
		農業協同組合等の合併支援	合併後の農業協同組合数 (目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	21組合	21組合	
				実績	21組合	21組合	
			合併後の農業共済組合数	目標	2組合	2組合	
				実績	2組合	2組合	
合併後の土地改良区数		目標	4団体	4団体			
		実績	4団体	4団体			
合併後の森林組合数	目標	8組合	5組合				
	実績	8組合	5組合				
3 森林、農地及び漁場の適正な保全	(1)森林・農地の適正な利用促進	森林整備地域活動支援交付金制度への支援	目標	57,000ha	57,950ha		
			実績	58,431ha	58,583ha		
		担い手等への農地の利用集積と耕作放棄地の解消	耕作放棄地の解消(累計)	目標	3ha	10ha	
				実績	10ha	31ha	

達成状況： 100%以上 100%未満～80%以上 80%未満

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	達成状況	2008年度の取り組みの概要	担当課
年5人	年5人	年5人	年5人		新規に新城市で5人が就農した。	農業改良普及課
年9人	年5人					
30人	30人	30人	30人		愛知県林業労働力確保支援センターが行う就業相談活動に協力した。管内は新城20人、北設楽8人が就業した。	林業振興課 新城林務課
36人	45人					
105人	125人	145人	167人		新規に新城市で11人、設楽町で1人が認定された。	農政課 農業改良普及課
127人	138人					
31件	33件	35件	36件		新城市で6戸が家族経営協定を締結した。	農業改良普及課
53件	59件					
26件	28件	30件	32件		研修会の開催や加工技術指導等を支援した。農産加工2件、農業体験等施設1件が起業した。	農業改良普及課
25件	28件					
80%	80%	80%	80%		主要対象作物の生産部会等を対象に制度への加入を促進した。しかし、価格差から対象外市場への出荷増となり、53%にとどまった。 対象：夏秋トマト、夏秋なす、夏秋キャベツ	農政課
61%	53%					
1地区	1地区	1地区	1地区		新城市上平井地区で農地・水・環境保全向上対策の営農活動支援を実施した。	農業改良普及課
1地区	1地区					
20組合	20組合	20組合	15組合		平成14年10月に合併済みである。	農政課
20組合	20組合					
1組合	1組合	1組合	1組合		平成19年4月に合併済みである。	農政課
1組合	1組合					
4団体	4団体	4団体	4団体		新城市土地改良区、作手村土地改良区、南方土地改良区、牟呂用水土地改良区が合併済みである。	建設課
4団体	4団体					
5組合	5組合	5組合	2組合		森林組合振興対策会議等により、経営基盤の強化を指導する中で合併を促した。	林業振興課 新城林務課
5組合	5組合					
57,950ha	57,950ha	57,950ha	57,950ha		設楽町の2団地について交付金の協定締結を指導した。	林業振興課 新城林務課
53,354ha	59,810ha					
20ha	40ha	70ha	90ha		和牛放牧、菜の花等の景観保全、企業等への貸し付けなどが行われた。新城市では、耕作放棄地再生利用推進事業に取り組み、ホールクローブサイレーズの作付けなどが行われた。	農政課
21.9ha	40.5ha					

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

	大項目	中項目	小項目		2005年度	2006年度
3 森林、農地及び漁場の適正な保全	(1)森林・農地の適正な利用促進	担い手等への農地の利用集積と耕作放棄地の解消	農地の流動化面積（累計）	目標	340ha	365ha
				実績	344ha	431ha
		中山間地域等直接支払制度への支援	直接支払制度の対象面積	目標	592.7ha	592.7ha
				実績	526ha	640ha
		★ 鳥獣による農作物等の被害防止	効果的な総合防除モデルの作成	目標	-	8モデル
				実績	7モデル	7モデル
	(2)自然災害の防止	農地等の自然災害防止	ため池や排水機場の整備	目標	2カ所	4カ所
				実績	2カ所	4カ所
			ため池や水路の環境整備	目標	-	1カ所
				実績	-	工事中
			ため池や水路の利活用に対する支援	目標	-	-
				実績	-	-
		★ 山地災害の防止	治山施設の整備（累計）	目標	192ha	384ha
				実績	181ha	364ha
			保安林（民有林）の配備面積（累計）	目標	21,587ha	21,622ha
				実績	22,193ha	22,612ha
			★ 治山事業による森林整備面積（累計）	目標	720ha	1,440ha
				実績	657ha	1,413ha
	★ 水源地域整備（累計）	目標	4地区	4地区		
	実績	4地区	5地区			
(3)環境と調和した森林や農地の整備	★ 森林整備の推進	間伐の実施	目標	年 2,420ha	年 2,420ha	
			実績	1,761ha	2,256ha	
		★ 人工林施業調査（累計）	目標	4,021ha	45,440ha	
			実績	5,597ha	66,274ha	
	生態系や景観に配慮した親水空間等の整備	ため池や水路の環境整備（再掲）	目標	-	1カ所	
			実績	-	工事中	

達成状況： 100%以上 100%未満～80%以上 80%未満

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	達成状況	2008年度の取り組みの概要	担当課
390ha	430ha	475ha	520ha		賃借権の設定、使用貸借などで479.5haの集積が行われた。	農政課
424ha	479.5ha					
592.7ha	592.7ha	592.7ha	592.7ha		ほぼ前年どおりの取組が行われた。	農政課
656.0ha	656ha					
8モデル	8モデル	8モデル	8モデル		和牛放牧（新城市、設楽町）、モンキードック（新城市）、サル追い払い隊（設楽町）などの取り組みが行われた。	農政課
7モデル	8モデル					
4カ所	4カ所	4カ所	4カ所		目標4カ所（滝沢、西堤、日焼、重川）が整備済みである	建設課
4カ所	4カ所					
1カ所	1カ所	1カ所	1カ所		生態系保全施設を整備した。（作手黒瀬）	建設課
工事中	1カ所					
1地区	1地区	1地区	1地区		現在、地区において調整中である。	建設課
調整中	調整中					
576ha	768ha	960ha	1,150ha		公共・県単事業を計画的に実施した。	森林整備課 新城林務課
559ha	751ha					
21,658ha	21,694ha	21,730ha	21,766ha		保安林の普及啓発に努め、保安林の指定推進を図った。	林業振興課 新城林務課
23,117ha	23,379ha					
2,160ha	2,880ha	3,600ha	4,320ha		公共・県単事業を計画的に実施した。	森林整備課 新城林務課
2,192ha	2,996ha					
5地区	7地区	7地区	8地区		地区単位で事業を実施しており、2008年度までに8地区で実施した。	森林整備課 新城林務課
6地区	8地区					
年 2,420ha	年 2,420ha	年 2,420ha	年 2,420ha		計画的に各種間伐事業を推進した。	林業振興課 森林整備課 新城林務課
2,324ha	2,381ha					
66,274ha	66,274ha	66,274ha	66,274ha		施業履歴を森林GIS（地理情報システム）へ入力した。	林業振興課 新城林務課
66,274ha	66,274ha					
1カ所	1カ所	1カ所	1カ所		生態系保全施設を整備した。（作手黒瀬）	建設課
工事中	1カ所					

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

	大項目	中項目	小項目		2005年度	2006年度
3 森林、農地及び漁場の適正な保全	(3)環境と調和した森林や農地の整備	生態系や景観に配慮した親水空間等の整備	生態系・景観に配慮した河川の改修整備 (目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	82km	88km
				実績	84km	92km
		地域住民による川岸への植樹 (目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	32km	35km	
			実績	34km	35km	
		魚道等の整備	魚道等の設置 (目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	3基	5基
				実績	2基	8基
	(4)水質の保全活動	集落排水施設の整備	集落排水施設の処理人口 (累計)	目標	0.6万人	0.6万人
				実績	0.6万人	0.6万人
		アユ再生プロジェクトの実施	アユ漁獲量の増大 (目標・実績数値は県庁で一括管理) (注2008年度実績値は2007年数値)	目標	230t	230t
				実績	158t	189t
		海、川等の清掃活動の支援	漁業者と県民による海や川のクリーンアップ活動の支援 (再掲)	目標	年3か所	年3か所
				実績	年3か所	年3か所
		河川や水路の清掃、除草活動への参加者 (目標・実績数値は県庁で一括管理)(再掲)	目標	7.7万人	7.7万人	
			実績	8.3万人	7.5万人	
	(5)環境負荷の低減と資源の循環利用	家畜排せつ物の適正処理	家畜排せつ物処理高度化施設の整備 (累計)	目標	1カ所	2カ所
				実績	5カ所	5カ所
		農産物環境安全推進マニュアルの策定	農産物環境安全推進マニュアルの導入 (累計) (再掲)	目標	-	-
				実績	-	-
		エコファーマーの認定	エコファーマーの認定者 (累計)	目標	31人	35人
				実績	31人	31人
バイオマスの利活用		バイオマスの利活用 (稲わら)	目標	0.7万t/年	0.7万t/年	
			実績	0.7万t/年	0.6万t/年	
	バイオマスの利活用 (食品製造残さ) (目標・実績数値は県庁で一括管理)(注2008年度実績値は2007年数値)	目標	7万t	7.2万t		
		実績	7.6万t	8.0万t		
バイオマスの利活用 (せん定枝) (目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	1,120t	1,480t			
	実績	974t	1,204t			

達成状況： 100%以上 100%未満～80%以上 80%未満

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	達成状況	2008年度の取り組みの概要	担当課																																																																																																																																	
94km	100km	100km	100km	未	8河川の改修工事箇所において、魚巢ブロックや環境保全型ブロック、巨石、かごマットを用いた護岸を施工した。	建設事務所																																																																																																																																	
101km	集計中						38km	40km	40km	40km		地域住民の河川への植樹管理を支援した。	建設事務所	35km	35km			7基	9基	11基	13基		鮎の遡上などに配慮した魚道の設置を行った。	建設事務所	20基	23基			0.7万人	0.7万人	0.8万人	0.8万人		新城市巴地区を支援した。	建設課	0.7万人	0.7万人			260t	300t	300t	300t		各漁協に対して、冷水病対策のため稚アユの産地変更及び適期放流を推進した。	農政課	220t	179t			年3か所	年3か所	年3か所	年3か所		大入川漁協の活動を支援した。	農政課	年3か所	年1か所			7.8万人	7.8万人	7.9万人	8.0万人		管内河川の清掃、除草活動を支援した。	建設事務所	7.7万人	7.6万人			3力所	4力所	4力所	4力所		新城市で山間地営農等振興事業により畜糞発酵乾燥機を整備した。	農政課	10か所	11か所			-	2産地	4産地	5産地		愛知東やまびこミニトマト生産部が農産物環境安全推進マニュアルの取り組みを開始した。愛知東トマト部会3支部が農産物環境安全推進マニュアルを導入した。	農業改良普及課	1産地	4産地			39人	43人	81人	85人		新城市で1人（水稻）、北設楽郡で47人（ミニトマト等）を新たに認定した。	農業改良普及課	60人	108人			0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年		管内で生産された稲わらはほぼすべて利活用されている。米の生産調整に伴い、生産される稲わらの数量が減少している。	農政課	0.6万t/年	0.5万t/年			7.4万t	7.6万t	7.8万t	8万t		食品製造残さをバイオマス利用するため、会議・イベントなど機会を捉えて周知した。発生量11.2万tに対して利用は9.9万tと利用率は88%である。	農政課	8.7万t	9.9万t			1,760t	2,020t	2,280t	2,500t		選定枝の利用が計画ほどは進んでいない。	農政課	1,517t
38km	40km	40km	40km		地域住民の河川への植樹管理を支援した。	建設事務所																																																																																																																																	
35km	35km						7基	9基	11基	13基		鮎の遡上などに配慮した魚道の設置を行った。	建設事務所	20基	23基			0.7万人	0.7万人	0.8万人	0.8万人		新城市巴地区を支援した。	建設課	0.7万人	0.7万人			260t	300t	300t	300t		各漁協に対して、冷水病対策のため稚アユの産地変更及び適期放流を推進した。	農政課	220t	179t			年3か所	年3か所	年3か所	年3か所		大入川漁協の活動を支援した。	農政課	年3か所	年1か所			7.8万人	7.8万人	7.9万人	8.0万人		管内河川の清掃、除草活動を支援した。	建設事務所	7.7万人	7.6万人			3力所	4力所	4力所	4力所		新城市で山間地営農等振興事業により畜糞発酵乾燥機を整備した。	農政課	10か所	11か所			-	2産地	4産地	5産地		愛知東やまびこミニトマト生産部が農産物環境安全推進マニュアルの取り組みを開始した。愛知東トマト部会3支部が農産物環境安全推進マニュアルを導入した。	農業改良普及課	1産地	4産地			39人	43人	81人	85人		新城市で1人（水稻）、北設楽郡で47人（ミニトマト等）を新たに認定した。	農業改良普及課	60人	108人			0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年		管内で生産された稲わらはほぼすべて利活用されている。米の生産調整に伴い、生産される稲わらの数量が減少している。	農政課	0.6万t/年	0.5万t/年			7.4万t	7.6万t	7.8万t	8万t		食品製造残さをバイオマス利用するため、会議・イベントなど機会を捉えて周知した。発生量11.2万tに対して利用は9.9万tと利用率は88%である。	農政課	8.7万t	9.9万t			1,760t	2,020t	2,280t	2,500t		選定枝の利用が計画ほどは進んでいない。	農政課	1,517t	1,400t										
7基	9基	11基	13基		鮎の遡上などに配慮した魚道の設置を行った。	建設事務所																																																																																																																																	
20基	23基						0.7万人	0.7万人	0.8万人	0.8万人		新城市巴地区を支援した。	建設課	0.7万人	0.7万人			260t	300t	300t	300t		各漁協に対して、冷水病対策のため稚アユの産地変更及び適期放流を推進した。	農政課	220t	179t			年3か所	年3か所	年3か所	年3か所		大入川漁協の活動を支援した。	農政課	年3か所	年1か所			7.8万人	7.8万人	7.9万人	8.0万人		管内河川の清掃、除草活動を支援した。	建設事務所	7.7万人	7.6万人			3力所	4力所	4力所	4力所		新城市で山間地営農等振興事業により畜糞発酵乾燥機を整備した。	農政課	10か所	11か所			-	2産地	4産地	5産地		愛知東やまびこミニトマト生産部が農産物環境安全推進マニュアルの取り組みを開始した。愛知東トマト部会3支部が農産物環境安全推進マニュアルを導入した。	農業改良普及課	1産地	4産地			39人	43人	81人	85人		新城市で1人（水稻）、北設楽郡で47人（ミニトマト等）を新たに認定した。	農業改良普及課	60人	108人			0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年		管内で生産された稲わらはほぼすべて利活用されている。米の生産調整に伴い、生産される稲わらの数量が減少している。	農政課	0.6万t/年	0.5万t/年			7.4万t	7.6万t	7.8万t	8万t		食品製造残さをバイオマス利用するため、会議・イベントなど機会を捉えて周知した。発生量11.2万tに対して利用は9.9万tと利用率は88%である。	農政課	8.7万t	9.9万t			1,760t	2,020t	2,280t	2,500t		選定枝の利用が計画ほどは進んでいない。	農政課	1,517t	1,400t																					
0.7万人	0.7万人	0.8万人	0.8万人		新城市巴地区を支援した。	建設課																																																																																																																																	
0.7万人	0.7万人						260t	300t	300t	300t		各漁協に対して、冷水病対策のため稚アユの産地変更及び適期放流を推進した。	農政課	220t	179t			年3か所	年3か所	年3か所	年3か所		大入川漁協の活動を支援した。	農政課	年3か所	年1か所			7.8万人	7.8万人	7.9万人	8.0万人		管内河川の清掃、除草活動を支援した。	建設事務所	7.7万人	7.6万人			3力所	4力所	4力所	4力所		新城市で山間地営農等振興事業により畜糞発酵乾燥機を整備した。	農政課	10か所	11か所			-	2産地	4産地	5産地		愛知東やまびこミニトマト生産部が農産物環境安全推進マニュアルの取り組みを開始した。愛知東トマト部会3支部が農産物環境安全推進マニュアルを導入した。	農業改良普及課	1産地	4産地			39人	43人	81人	85人		新城市で1人（水稻）、北設楽郡で47人（ミニトマト等）を新たに認定した。	農業改良普及課	60人	108人			0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年		管内で生産された稲わらはほぼすべて利活用されている。米の生産調整に伴い、生産される稲わらの数量が減少している。	農政課	0.6万t/年	0.5万t/年			7.4万t	7.6万t	7.8万t	8万t		食品製造残さをバイオマス利用するため、会議・イベントなど機会を捉えて周知した。発生量11.2万tに対して利用は9.9万tと利用率は88%である。	農政課	8.7万t	9.9万t			1,760t	2,020t	2,280t	2,500t		選定枝の利用が計画ほどは進んでいない。	農政課	1,517t	1,400t																																
260t	300t	300t	300t		各漁協に対して、冷水病対策のため稚アユの産地変更及び適期放流を推進した。	農政課																																																																																																																																	
220t	179t						年3か所	年3か所	年3か所	年3か所		大入川漁協の活動を支援した。	農政課	年3か所	年1か所			7.8万人	7.8万人	7.9万人	8.0万人		管内河川の清掃、除草活動を支援した。	建設事務所	7.7万人	7.6万人			3力所	4力所	4力所	4力所		新城市で山間地営農等振興事業により畜糞発酵乾燥機を整備した。	農政課	10か所	11か所			-	2産地	4産地	5産地		愛知東やまびこミニトマト生産部が農産物環境安全推進マニュアルの取り組みを開始した。愛知東トマト部会3支部が農産物環境安全推進マニュアルを導入した。	農業改良普及課	1産地	4産地			39人	43人	81人	85人		新城市で1人（水稻）、北設楽郡で47人（ミニトマト等）を新たに認定した。	農業改良普及課	60人	108人			0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年		管内で生産された稲わらはほぼすべて利活用されている。米の生産調整に伴い、生産される稲わらの数量が減少している。	農政課	0.6万t/年	0.5万t/年			7.4万t	7.6万t	7.8万t	8万t		食品製造残さをバイオマス利用するため、会議・イベントなど機会を捉えて周知した。発生量11.2万tに対して利用は9.9万tと利用率は88%である。	農政課	8.7万t	9.9万t			1,760t	2,020t	2,280t	2,500t		選定枝の利用が計画ほどは進んでいない。	農政課	1,517t	1,400t																																											
年3か所	年3か所	年3か所	年3か所		大入川漁協の活動を支援した。	農政課																																																																																																																																	
年3か所	年1か所						7.8万人	7.8万人	7.9万人	8.0万人		管内河川の清掃、除草活動を支援した。	建設事務所	7.7万人	7.6万人			3力所	4力所	4力所	4力所		新城市で山間地営農等振興事業により畜糞発酵乾燥機を整備した。	農政課	10か所	11か所			-	2産地	4産地	5産地		愛知東やまびこミニトマト生産部が農産物環境安全推進マニュアルの取り組みを開始した。愛知東トマト部会3支部が農産物環境安全推進マニュアルを導入した。	農業改良普及課	1産地	4産地			39人	43人	81人	85人		新城市で1人（水稻）、北設楽郡で47人（ミニトマト等）を新たに認定した。	農業改良普及課	60人	108人			0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年		管内で生産された稲わらはほぼすべて利活用されている。米の生産調整に伴い、生産される稲わらの数量が減少している。	農政課	0.6万t/年	0.5万t/年			7.4万t	7.6万t	7.8万t	8万t		食品製造残さをバイオマス利用するため、会議・イベントなど機会を捉えて周知した。発生量11.2万tに対して利用は9.9万tと利用率は88%である。	農政課	8.7万t	9.9万t			1,760t	2,020t	2,280t	2,500t		選定枝の利用が計画ほどは進んでいない。	農政課	1,517t	1,400t																																																						
7.8万人	7.8万人	7.9万人	8.0万人		管内河川の清掃、除草活動を支援した。	建設事務所																																																																																																																																	
7.7万人	7.6万人						3力所	4力所	4力所	4力所		新城市で山間地営農等振興事業により畜糞発酵乾燥機を整備した。	農政課	10か所	11か所			-	2産地	4産地	5産地		愛知東やまびこミニトマト生産部が農産物環境安全推進マニュアルの取り組みを開始した。愛知東トマト部会3支部が農産物環境安全推進マニュアルを導入した。	農業改良普及課	1産地	4産地			39人	43人	81人	85人		新城市で1人（水稻）、北設楽郡で47人（ミニトマト等）を新たに認定した。	農業改良普及課	60人	108人			0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年		管内で生産された稲わらはほぼすべて利活用されている。米の生産調整に伴い、生産される稲わらの数量が減少している。	農政課	0.6万t/年	0.5万t/年			7.4万t	7.6万t	7.8万t	8万t		食品製造残さをバイオマス利用するため、会議・イベントなど機会を捉えて周知した。発生量11.2万tに対して利用は9.9万tと利用率は88%である。	農政課	8.7万t	9.9万t			1,760t	2,020t	2,280t	2,500t		選定枝の利用が計画ほどは進んでいない。	農政課	1,517t	1,400t																																																																	
3力所	4力所	4力所	4力所		新城市で山間地営農等振興事業により畜糞発酵乾燥機を整備した。	農政課																																																																																																																																	
10か所	11か所						-	2産地	4産地	5産地		愛知東やまびこミニトマト生産部が農産物環境安全推進マニュアルの取り組みを開始した。愛知東トマト部会3支部が農産物環境安全推進マニュアルを導入した。	農業改良普及課	1産地	4産地			39人	43人	81人	85人		新城市で1人（水稻）、北設楽郡で47人（ミニトマト等）を新たに認定した。	農業改良普及課	60人	108人			0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年		管内で生産された稲わらはほぼすべて利活用されている。米の生産調整に伴い、生産される稲わらの数量が減少している。	農政課	0.6万t/年	0.5万t/年			7.4万t	7.6万t	7.8万t	8万t		食品製造残さをバイオマス利用するため、会議・イベントなど機会を捉えて周知した。発生量11.2万tに対して利用は9.9万tと利用率は88%である。	農政課	8.7万t	9.9万t			1,760t	2,020t	2,280t	2,500t		選定枝の利用が計画ほどは進んでいない。	農政課	1,517t	1,400t																																																																												
-	2産地	4産地	5産地		愛知東やまびこミニトマト生産部が農産物環境安全推進マニュアルの取り組みを開始した。愛知東トマト部会3支部が農産物環境安全推進マニュアルを導入した。	農業改良普及課																																																																																																																																	
1産地	4産地						39人	43人	81人	85人		新城市で1人（水稻）、北設楽郡で47人（ミニトマト等）を新たに認定した。	農業改良普及課	60人	108人			0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年		管内で生産された稲わらはほぼすべて利活用されている。米の生産調整に伴い、生産される稲わらの数量が減少している。	農政課	0.6万t/年	0.5万t/年			7.4万t	7.6万t	7.8万t	8万t		食品製造残さをバイオマス利用するため、会議・イベントなど機会を捉えて周知した。発生量11.2万tに対して利用は9.9万tと利用率は88%である。	農政課	8.7万t	9.9万t			1,760t	2,020t	2,280t	2,500t		選定枝の利用が計画ほどは進んでいない。	農政課	1,517t	1,400t																																																																																							
39人	43人	81人	85人		新城市で1人（水稻）、北設楽郡で47人（ミニトマト等）を新たに認定した。	農業改良普及課																																																																																																																																	
60人	108人						0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年		管内で生産された稲わらはほぼすべて利活用されている。米の生産調整に伴い、生産される稲わらの数量が減少している。	農政課	0.6万t/年	0.5万t/年			7.4万t	7.6万t	7.8万t	8万t		食品製造残さをバイオマス利用するため、会議・イベントなど機会を捉えて周知した。発生量11.2万tに対して利用は9.9万tと利用率は88%である。	農政課	8.7万t	9.9万t			1,760t	2,020t	2,280t	2,500t		選定枝の利用が計画ほどは進んでいない。	農政課	1,517t	1,400t																																																																																																		
0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年		管内で生産された稲わらはほぼすべて利活用されている。米の生産調整に伴い、生産される稲わらの数量が減少している。	農政課																																																																																																																																	
0.6万t/年	0.5万t/年						7.4万t	7.6万t	7.8万t	8万t		食品製造残さをバイオマス利用するため、会議・イベントなど機会を捉えて周知した。発生量11.2万tに対して利用は9.9万tと利用率は88%である。	農政課	8.7万t	9.9万t			1,760t	2,020t	2,280t	2,500t		選定枝の利用が計画ほどは進んでいない。	農政課	1,517t	1,400t																																																																																																													
7.4万t	7.6万t	7.8万t	8万t		食品製造残さをバイオマス利用するため、会議・イベントなど機会を捉えて周知した。発生量11.2万tに対して利用は9.9万tと利用率は88%である。	農政課																																																																																																																																	
8.7万t	9.9万t						1,760t	2,020t	2,280t	2,500t		選定枝の利用が計画ほどは進んでいない。	農政課	1,517t	1,400t																																																																																																																								
1,760t	2,020t	2,280t	2,500t		選定枝の利用が計画ほどは進んでいない。	農政課																																																																																																																																	
1,517t	1,400t																																																																																																																																						

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

	大項目	中項目	小項目		2005年度	2006年度	
3 森林、農地及び漁場の適正な保全	(5)環境負荷の低減と資源の循環利用	農業用使用済プラスチックの再生利用の推進	農業用使用済プラスチックの再生利用率	目標	0%	10%	
				実績	0%	0%	
		菜の花エコプロジェクトの推進	菜の花エコプロジェクトによる栽培面積の拡大	目標	-	-	
				実績	0.1ha	0.3ha	
4 農山漁村における定住の促進	(1)農山漁村における就業機会の増大	就業機会の創出	「農・山・海の幸づくりルート」(観光ルート)の開発 (累計) (再掲)	目標	-	1ルート	
				実績	-	1ルート	
			主な産地直売施設の利用者 (再掲)	目標	年36万人	年36万人	
				実績	31万人	34万人	
		(2)生活環境の整備	農山漁村の生活環境整備	集落排水施設の処理人口 (累計) (再掲)	目標	0.6万人	0.6万人
					実績	0.6万人	0.6万人
				林道の整備 (累計) (再掲)	目標	681km	700km
					実績	672km	688km
	★ ★	美しく住みよいむらづくり	もみじロードの整備 (累計)	目標	3km	5km	
				実績	2km	2km	
			クラインガルテン等の整備	目標	-	-	
				実績	-	-	

達成状況： 100%以上 100%未満～80%以上 80%未満

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	達成状況	2008年度の取り組みの概要	担当課
20%	30%	40%	60%		愛知東農協が主体となって、年1回、回収作業を12月から2月にかけて実施している。処分は回収量が少なくコストが合わないため、埋め立て等で対応している。	農政課
0%	0%					
0.5ha	0.5ha	1.0ha	1.0ha		新城設楽地域資源循環推進会議を開催し、菜の花エコプロジェクト交流会、キャラバン実施などの啓発と新城菜の花ネットの活動支援を行った。しかし、種子の採取不足から面積が減少した。	農政課
0.5ha	0.3ha					
2ルート	3ルート	4ルート	5ルート		11月に2ルート「茶臼山高原を楽しむルート」「北設楽の温泉を楽しむルート」を設定した。	農政課
2ルート	4ルート					
年36万人	年36万人	年36万人	年36万人		直売所は47万人、施設内食堂等は13万人、その他体験施設等は8万人が利用した。	農政課
62万人	68万人					
3品目	5品目	5品目	6品目		加工品として、米粉、エゴマを使った菓子を開発した。米、エゴマ、コゴミ、梅、ジネンジョ、八名丸里芋の6品目の特産品の栽培推進と加工品の開発ができた。	農業改良普及課
5品目	6品目					
0.7万人	0.7万人	0.8万人	0.8万人		新城市巴地区を支援した。	建設課
0.7万人	0.7万人					
721km	741km	762km	783km		県営、補助営の林道事業等により計画的に実施した。	林業振興課 新城林務課
706km	722km					
7km	9km	10km	10km		10月19日に、25本を10mおきに植栽した。	建設課
2.75km	3.0km					
-	1カ所	1カ所	1カ所		整備に向けた啓発活動を実施している。	農政課
-	0カ所					